

てとー。

tetote

No.83



特集

災害に備える (P.2)

～互助・つながることでできること～

P.5 みんなあつまれ！

米原市地域共生社会フェスタのご案内

P.6 じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金／歳末たすけあい運動

P.8 ありがとうございました

米原市社会福祉協議会・特別会員ご芳名

P.11 キラリ★ボランティアさん

一緒に野菜を作ろうプロジェクト

災害による犠牲者等のいわゆる方々が、多くの内では、自治人への支援をされています。

に助かる
曾やす

こちらは平成7年に発生した『阪神・淡路大震災』で、「誰救助されたのか」をまとめています。地域住民による救助が多くを占めています。被害では、公的な支援が必要であり、一刻を争う間に災害時に、地域に住む人が争って、大きな役割を果たします。



平常時の災害対策（避難支援体制づくり）により、被害が最小限に抑えられた事例があります。

【2014年長野県北部での地震災害】

家屋40棟が全半壊したが、死者が出なかった。寝ている場所を把握していたことで、倒壊した家屋の下敷きになった人を、近隣の方と協力して救助できた。

【2018年西日本豪雨災害（愛媛）】

約100棟が浸水したが、住民らによる迅速な安否確認と救助活動を行い、死者が出なかった。

避難訓練



災害が起きたときに、迅速に避難できるよう訓練します。

また、支援が必要な人が、個別避難支援計画により安全に避難できるか確認します。

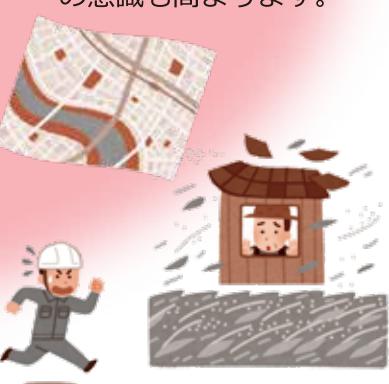
個別避難支援計画の作成

避難に支援が必要な人が安全に避難できるよう、必要な情報をまとめ計画にします。

福祉・防災マップの作成

どこに避難支援が必要な人がいるのか、避難所までの安全な避難経路をマップに表します。

住民が集まってマップを作成することで、情報共有と災害への意識も高まります。



支援が必要な人も含めてみんなが安全に避難できる仕組みを工夫されています。

避難支援体制表の作成

誰が誰を避難支援するのかを決め、「誰かが行くだろう」という支援漏れを防ぎます。

特集 【シリーズ】第3弾

今回の「災害への備え」についてのテーマは「互助」。前号では、個人や各家庭ができる身の回りの安全対策や、災害時に避難の妨げとなる心理状態、地域の中で人つながりの大切さについてお伝えしましたが、今回は市内の各地域、自治会やご近所など、近なつながりの中で取り組まれている『災害に備える活動』（互助）を紹介します。

「災害に備える」～互助・つながることでできること～

「防災の三助」では、近隣住民や被災者同士で助け合うことを「共助」と言われていますが、本特集では、福祉の考え方である「4つの助」における地域での活動、近隣同士の支え合いである「互助」を使用しています。

日頃のつながりや、福祉活動等が、災害が起きた時の住民の避難に役立つたという一つの事例があります。

今年1月に発生した能登半島地震への支援のため、本会職員が現地を訪れた際に、「日ごろからいろんな集まる機会があった。近所付き合いのなかで、足が不自由な人のことなど、近所の人のことはみんな、お互いに知っていた。だからみんなで助け合って一緒に避難できた」との話をお聞きしました。

自治会行事

誰が住んでいるかを互いに知り、逃げてきていらない人の把握につながります。



近所づきあい

混乱が予想される発災時に、お互いの存在を忘れずに済むことにつながります。



見守り・訪問活動

見守りが必要な人の状態を把握することは、避難支援に必要な情報の把握につながります。



ご近所の方の状況を知っておく

避難するときや、避難生活で配慮が必要なことを知っておくことで、安心が高まります。



POINT!

「つながり」の強い地域は困りごとの把握・支援も早い！

災害ボランティアセンター運営支援業務を行う中で、現地の様子を見ていると、支援ニーズが届くまでの時間が、短い地域と、長くかかる地域があります。

情報を得にくい人や、ボランティアによる支援をしてほしいという声を上げにくい方もおられます。平常時からのつながりが強い地域は、つながっている方による情報提供やボランティアセンターへの橋渡しがあり、支援を得やすい状況があります。

次回は災害対策に必要な『地域住民と福祉専門職とがつながることの大切さ』についてお伝えします。

皆さんの地域や周りで、避難支援体制づくり等を「進めたいけどどうしたらいいんだろう」。また企業や福祉専門職も「できることはないだろうか」「関わりたい」などありましたら**4ページ（つながるまいばら）**をご覧ください。

全国各地で様々な災害が発生し、自分自身が被災者になる可能性は誰にでもあります。災害時に助け合えるよう、平常時から備えることで、避難時だけでなく避難先で必要な配慮を得られるなど、避難後の生活にも活かされます。



避難行動要支援者登録の

理解不足から要支援状態である方の把握・登録を進め、避づくり等の基礎情報を集めます

「困りごと」の解決や「したい」「やりたい」の実現のために
生活支援コーディネーターは一緒に考え、取り組んでいきます！

①災害に備えて
取り組みを検討したい



②介護が必要な人が
安全に避難できるか不安



③地域貢献活動をしたい



自治会役員

何から始めた
らしいんだろう？



生活支援コーディネーター

ケアマネジャー

自治会と話し合
いができないかな？



生活支援コーディネーター

企業の社員

どんな活動が
あるの？
どんなことが
できるんだろう？



生活支援コーディネーター



自治会長さん、
自治会で災害
について考
える機会を持
ちませんか

生活支援コーディネーター



自治会長さん、ケ
アマネジャーさん
と避難支援につ
いて考える場を作
つてもらえませんか

生活支援コーディネーター



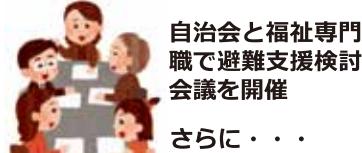
ボランティアコーディネーター
ボランティアコー
ディネーターを紹
介し、一緒に活動
を検討する

生活支援コーディネーター

自治会で災害
を考える懇談
会を開催
さらに…



先進地域の
取り組みを
学ぶ学習会を
開催



自治会と福祉専門
職で避難支援検討
会議を開催
さらに…



災害ボランティアセンター
サポーターに登録

地域の防災訓練や
災害ボランティアセンター運営
訓練に参加



このような生活支援コーディネーターは、災害に限らず、地域や、福祉専門職、企業など
皆さんの様々な「困りごと」の解決や「やりたい」ことの実現に向けて一緒に取り組んでいきます！

各地域の生活支援コーディネーターへのご相談・お問い合わせ先

【広域】米原市地域支え合いセンター

住所：米原市三吉570番地（米原地域福祉センターゆめホール内）

電話：54-3100 FAX:54-3115 メール：sasaean@maibara-shakyo.or.jp

【山東地域】山東地域福祉活動センター

住所：米原市長岡1206番地
(米原市役所山東支所内)

電話/FAX:55-3933
メール：santou@maibara-shakyo.or.jp

【米原地域】米原地域福祉活動センター

住所：米原市三吉570番地
(米原地域福祉センターゆめホール内)
電話：54-3100 FAX:54-3115
メール：maibara@maibara-shakyo.or.jp

【伊吹地域】伊吹地域福祉活動センター

住所：米原市春照56番地
(伊吹地域福祉センター愛らんど内)

電話：58-1770 FAX:58-2231
メール：ibuki@maibara-shakyo.or.jp

【近江地域】近江地域福祉活動センター

住所：米原市顔戸21番地2
(近江地域福祉センターやすらぎハウス内)
電話：52-8005 FAX:52-8051
メール：oumi@maibara-shakyo.or.jp



\みんなでつくる /

ふくしのフェスタ

楽しく学ぼう共生社会 ~来て、見て、ふれてみよう~

日時 令和6年 入場料無料

※飲食をはじめ、有料コーナーもあります

11月17日 日 9:30～13:00（開場9:30）

eスポーツ体験コーナー
もあるよ！

会場 滋賀県立文化産業交流会館



タイムスケジュール

イベントホール

9:40～9:45
オープニングムービー
米原市長あいさつ

10:15～

ステージ発表

- ウクレレの演奏（小田キャンディーズ）
- 紙芝居他（縁ひだまり）
- よし笛の演奏（みしま4420）
- ダンス披露（柏原中学校ダンス部）
- ギターとホルンの演奏（すいーと・ほーんズ）

12:45～13:00

クロージングセレモニー

みんなで「100%勇気」を歌おう！

米原市社会福祉協議会会長あいさつ

9:30～13:00
 ●食べ物コーナー
 ●体験コーナー
 ●展示コーナー
 ●おゆずり会コーナー

会議室1・小劇場

9:30～13:00 会議室1（2階）
eスポーツ体験コーナー

10:30～12:00 小劇場

講演

「聴導犬について知ろう」

(講師：中村正氏 五十嵐恵子氏)

※事前申込 定員200人

申込／お問合せ：米原市障がい福祉課

TEL: 0749-53-5123

FAX: 0749-53-5119

子育てサークルによる
お楽しみブースも開催
焼き芋・ポップコーン・ジュース（販売）
芋のつるの輪投げ・射的（体験）

秋ランド

スタンプラリー

（対象：中学生以下）

コーナーをまわってスタンプを集めよう！

スタンプを集める
と景品あり先着
500人

※各出展ブースをはじめ内容は変更になる場合がありますのでご了承ください。

※チラシは広報まいばらに折込んでいます。米原市社協のホームページにもアップしています。

募金運動実施中！！

未投函ハガキ（書き損じや未使用のもの）を集めています！
ご協力ください！！



～じぶんの町を良くするしくみ～

赤い羽根
共同募金

赤い羽根共同募金に ご協力ください。

赤い羽根共同募金は、市内の高齢者、障がい児者、児童青少年等に対する福祉活動や、自治会内で行われる福祉活動等に活かされるとともに、県内の福祉施設への支援や災害対策にも役立てられています。



今年も歳末たすけあい 運動を実施します

「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として皆様の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要とされる方が地域で安心して暮らすことができるよう、また、市内の当事者団体等への助成を行うために展開するものです。

令和6年度の歳末たすけあい募金の使いみち

- 市内の支援を必要とされる世帯へ届けます。
※詳しくは7ページをご覧ください。
- 当事者団体等が行う地域交流事業への配分 等



NPO法人発達障がいサポートネット
でこぼこフレンズ

～クリスマス会の開催～

みんなで準備し楽しむことができました

～当事者団体が実施された地域交流事業をご紹介します～



米原市母子福祉のぞみ会

～寄せ植え講習会～

和気あいあいと楽しい一時でした



令和6年度 島根県立大学募金配分



米原市社会福祉協議会では、支援を必要とする人たちが住み慣れたまちで安心して暮らすことができるよう、地域のみなさまのご協力により集められる「島根県立大学募金」を、次の基準により配分します。該当となる世帯で、配分を希望される方はお申込みください。

※島根県立大学募金配分は、自己申請により配分されるものです。
(希望する人が自分で申し込むこと)

配分対象世帯（申請のできる世帯）	配分額
ひとり暮らし 高齢者世帯	市内在住の75歳以上のひとり暮らしであって、 <u>住民税非課税</u> の世帯
障がい者手帳 所持世帯	市内在住の障がい者手帳（身体障害者手帳1級または2級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）を所持している方であって、18歳以上（今年度18歳を迎えた方を除く）の場合は <u>本人とその配偶者の合計所得が住民税非課税</u> の方が属する世帯、18歳未満の場合は <u>保護者の属する世帯の合計所得が住民税非課税</u> の世帯 ※世帯内に複数の障がい者手帳所持者が属する場合も、1件の配分となります。
ひとり親世帯等	市内在住の <u>児童扶養手当を受給</u> している世帯
低所得者世帯	市内在住の生活保護世帯、またはそれに準ずる世帯
要就学援助世帯	市内在住の <u>就学援助費を受給</u> している世帯
申請にあたっての留意事項	
※ <u>一世帯が複数の対象基準に該当する場合、いずれか一つの対象基準をもって申請</u> するものとします。	

〈基準日〉

配分は、令和6年11月1日現在の状況を基準とします。

〈申請方法〉

申請書兼同意書は、本広報に折り込んでいます。また、社協各センターおよび民生委員児童委員宅にあります。必要事項をご記入の上、最寄りの社協各センターもしくは担当する民生委員児童委員に提出してください。

〈配分決定〉

提出された申請書兼同意書は、米原市社会福祉協議会理事会にて申請内容等を審議した上で、配分を決定します。

〈配分方法〉

配分が決定した世帯には、各地域を担当される民生委員児童委員を通じて配分金をお渡します。（12月中旬頃）

〈申込期間〉

令和6年11月1日（金）
～11月8日（金）



**☆お問合せ・提出先は、米原市社会福祉協議会、または民生委員児童委員まで
社協各センターはこちら**

山東地域福祉活動センター 米原市長岡1206（米原市役所山東支所内）

TEL 55-3933 FAX 55-3933 santou@maibara-shakyo.or.jp

伊吹地域福祉活動センター 米原市春照56（伊吹地域福祉センター愛らんど内）

TEL 58-1770 FAX 58-2231 ibuki@maibara-shakyo.or.jp

米原地域福祉活動センター 米原市三吉570（米原地域福祉センターゆめホール内）

TEL 54-3100 FAX 54-3115 maibara@maibara-shakyo.or.jp

近江地域福祉活動センター 米原市顔戸21-2（近江地域福祉センターやすらぎハウス内）

TEL 52-8005 FAX 52-8051 oumi@maibara-shakyo.or.jp



ご協力ありがとうございました。

令和6年度 米原市社会福祉協議会特別会員

市内の事業所・企業・商店の皆様に特別会費のご協力をいただきました。

米原市社会福祉協議会では会費を大切な財源として、「つながりで地域の暮らしを支える」

をめざして、さまざまな地域福祉の推進に向けての事業を展開してまいります。

今後とも、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

令和6年10月4日現在（敬称略・順不同）

善意銀行だより

令和6年7月25日～令和6年10月4日

(敬称略)

《預託》

《払出》

50,000円	明政人	
45,000円	長浜ライオンズクラブ	→伊吹自治会（土砂災害見舞金）
100,000円	社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会	→伊吹自治会（土砂災害見舞金）
10,000円	匿名	→伊吹自治会（土砂災害見舞金）

みんなの積み木（ニキーチン積み木）	藤井 和好	→施設のおもちゃとして
リハビリパンツ3袋	匿名	→介護施設へ
パウチ飲料36個	匿名	→介護施設へ
玄米30kg・白米5kg	北村 喜代隆	→米原市社協へ
玄米125kg	匿名（4件）	→食料配布事業
米750kg(5kg×150袋)	レーク伊吹農業協同組合	→食料配布事業・食料支援事業 他 食料支援事業 28件
		米・カップ麺・レトルト食品・ ふりかけ・缶詰等



「新米がとれたので、事業で活用してください」と北村喜代隆様よりご寄付いただきました！



レーク伊吹農業協同組合様より食料支援等に活用する米をご寄付いただきました！



食料配布事業提供品としてたくさんいただきました！

その他にも皆さまからいただきました大切なご寄付は、生活にお困りの方や子ども食堂、地域のサロンのほか、市内の福祉事業所等にお渡しし、様々な活動に活用しています。

相談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月～金曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。※祝日・年末年始を除く。山東地域福祉活動センターは午後5時15分閉館。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～11時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員

〈問合せ〉米原市 社会福祉課 ☎：53-5121

相談日	会場	相談日	会場
11月12日（火）	米原市役所 山東支所（長岡1206）	12月24日（火）	伊吹薬草の里文化センター（春照37）
11月26日（火）	近江学びあいステーション（旧近江公民館）（顔戸1513）	1月14日（火）	米原市役所 山東支所（長岡1206）
12月10日（火）	米原市役所3E会議室（米原1016）	1月28日（火）	近江学びあいステーション（旧近江公民館）（顔戸1513）

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会場	相談日	会場
11月14日（木）	米原市役所3E会議室（米原1016）	1月9日（木）	米原市役所3E会議室（米原1016）
12月12日（木）	米原市役所3E会議室（米原1016）		

1回30分以内 料金 1,000円。時間は9時30分～11時45分までの間。

〈問合せ・申込み〉米原市 社会福祉課 ☎：53-5121 ※各相談については、状況により中止になる場合があります。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

義援金募集中

～みなさまの温かいご支援をお願いいたします～

人間を救うのは、人間だ。



赤い羽根共同募金

各地で発生した地震や大雨等の災害により被災された方々を支援するための義援金を募集しています。

ご寄付いただいた義援金は、日本赤十字社・共同募金会を通じて全額を被災都道府県に設置される義援金配分委員会へお送りし、市区町村等の自治体を通じて、被災地の方々の生活支援に役立てられます。

【受付中の国内災害義援金】

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| ○令和6年9月能登半島大雨災害義援金 | 受付：2025年3月31日まで |
| ○令和6年7月25日からの大雨災害義援金(秋田県・山形県) | 受付：2024年12月27日まで |
| ○令和6年能登半島地震災害義援金 | 受付：2024年12月27日まで |

※国内災害義援金の他、日本赤十字社では海外救援金の募集も行われています。

※義援金は、所得税法上の「特定寄附金」に該当し、寄附金控除の対象となります。

※義援金に関する詳細は、下記の機関のホームページからご確認いただけます。

- ・日本赤十字社 URL : <https://www.jrc.or.jp>
- ・中央共同募金会 URL : <https://www.akaihane.or.jp>

ご応募
いただいた
作品は最終頁
で紹介して
います

ふくし川柳作品を募集しています

地域福祉活動やボランティア活動をされている方、各福祉分野（高齢者・障がい・児童）の事業に従事する方や当事者の方、ご家族の他、ご近所の方など、福祉の目線で感じたことを5・7・5の『川柳』で表現してください。



お題

ふだんのくらしのしあわせにまつわる川柳 ※福祉にまつわることすべて

掲載号と 募集期間

・2月号掲載作品 …… 11月末日まで

応募方法

・はがきや任意用紙に必要事項【作品・ペンネーム・氏名・連絡先】を記入し、協働推進課宛として、社協各窓口へお届けください。

※ペンネームがない場合は氏名を掲載させていただきます。

・メールでの応募先 maibara@maibara-shakyo.or.jp



※すべての作品が掲載されるわけではありません。

応募多数の場合、掲載号を変えて掲載させていただくことがあります。



キラリ★ボランティアさん

「畑作業をしたい人がいたら、うちを使ってくれたらええで。一回見に来たらええがな！」と、声をかけてくださったのは、鳥脇で『大原農園どろんこ畑』をされている清水正雄さん（86歳）。

大原保育園・山東幼稚園・大原小学校の子どもたちに、さつまいもの苗植え、収穫体験の場を提供されています。また、畑で採れた野菜を善意銀行にご寄付くださっていますので、市内の子ども食堂等にお届けしています。「もう年やで、1人で広い畑をすることも難しくなってきた。畑に行つても喋り相手がいてへんで誰か来てくれるなら嬉しいんや。場所は提供できるし、野菜作りも教えることはできる。いやいや、教えるというよりは、一緒に畑作業を楽しんでもらえたらそれでええ！」と。



大原農園どろんこ畑の清水さん

まいボラ



子育てサークル「ホッとケーキ」×「大原農園どろんこ畑」清水正雄さん ～一緒に野菜を作ろうプロジェクト！～

子育てサークル「ホッとケーキ」の活動日、「季節のイベントも楽しみたい！」「気候が良い時期は外遊びもしたいね。」「自然体験もいいな。畑作業もしてみたい！」「白菜を作つて、キムチ作りをしよう。」これからやりたいことが盛沢山の、子育てサークル「ホッとケーキ」の皆さん。「野菜を作つて食べられたら良いな。でも畑が無いよね…。」という話が出てきました。



『そうだ！！大原どろんこ畑がある！！
一度相談に行ってみよう！！』
ということで、清水さんをお訪ねしました。



清水さんにレクチャーを受けました

人生初耕うん機 「スペースは沢山あるで使ってくれたら良い！
美味しい野菜が育つ地作りが肝心。一緒にやろう！」

と、トントン拍子で話が進み、白菜を植えることになりました。

畑作業1日目。可愛い可愛いお客様に清水さんもニッコリ。残暑厳しく暑い日でしたが、皆で力を合わせ、畠を作り、白菜の種と苗を植えました。大きくなるのが楽しみですね。白菜ができたら、清水さんと一緒にキムチ作りをされる予定です。

サークル名『ホッとケーキ』と子どもたちの手形を入れた看板も設置されましたよ！



このページに関する
問合せ先

手作り看板の設置



どうやって
藁を運ぼうかなー？



米原市ボランティアセンター

☎ 0749-54-3100 もしくは、こちらのLINEからお問い合わせください。



隙間時間に
ボランティア活動を始めてみたい！
活動に参加して仲間づくりをしたい！
など、ボランティア活動に関する
お問い合わせをお待ちしています♪



米原市のみなさんに役立つ 子育て情報をご紹介

おおきくな～れ

米原市ファミリー・サポート・センター交流会 「稲刈り＆餅つき大会」を開催しました。

6月の交流会で植えたもち米が、
たわわに実りました。

さあ今年も恒例の稲刈り！

せっかくもち米を収穫するのなら、餅つき大会もやろう！ということで、蒸したもち米を、臼と杵を使いペッたんぺったん。

「交流会のたびにサポーターさんに会えるのが楽しみ！」「会うたびに大きくなるねー。」と会員さん同士もすっかり顔なじみの関係に♪交流会を通じて仲良くなつてもらうことで、「いざ利用！！」という時に安心ですよね。

次回の交流会は12月2日(月)10時20分～。「はぎれース作り」を行います。お気軽にご参加ください。お申込みお待ちしております！※9時から養成講座もあります！



餅つき大会の様子



地域共生社会フェスタにて 子育てサークルブースを出展してもらいます！

今年も、地域共生社会フェスタを開催します。

今年も子育てサークルさんがお楽しみブース(秋ランド)を開催されます♡

日時：令和6年11月17日(日) 9:30～13:00

場所：米原市文化産業交流会館にて

内容：

(販売) 焼き芋・ポップコーン

ジュース

(体験) 芋のつるの輪投げ

射的



こども縁日の様子

事前申込は不要ですが、
スタンプラリーに参加できる方は先着500名(中学生以下)です。

参加賞もありますので、お友だち・ご家族お誘いあわせの上、来場ください。

ふくし川柳

ふくし川柳

作品紹介



運がいい 今を生き生き 輝いて

MORI

支え合う 生きる命の 重さかな

MORI

百までは まだまだ届かぬ 弱音はくな

MORI

お陰様 あいさつ運動 立てる朝

MORI

ふと思う 普段の暮らし 有難く

MORI

しゃーないと 行ったデイは 女子会だ

MORI

歩行器を 夫婦で使い ゆずりあう

MORI

まちがいを 絵から見出す 人生も

MORI

口だけは 若い者には まだ負けぬ

MORI

匿名



※敬称略

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
☎ 54-3110 FAX 54-3115 ✉ maibara@maibara-shakyo.or.jp

山東地域福祉活動センター

米原市長岡1206 市役所山東支所内
☎ 55-3933 FAX 55-3933 ✉ santou@maibara-shakyo.or.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹地域福祉センター愛らんど内
☎ 58-1770 FAX 58-2231 ✉ ibuki@maibara-shakyo.or.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
☎ 54-3105 FAX 54-3115 ✉ maibara@maibara-shakyo.or.jp

近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内
☎ 52-8005 FAX 52-8051 ✉ ouri@maibara-shakyo.or.jp

- 文字が読みにくい等でお困りの方に、毎号「音の広報」として「広報てとて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽にお問い合わせください。
- (「音の広報」は米原市内の音詠ボランティアの方が読み上げ・録音・編集されたものです。)



てんてんのイラストは、地域のボランティアさんに描いていただいたイラストです。

この広報は一部赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

